

# 産学交流会 STEP 3

## 実施報告書

日時：平成27年5月28日（木）

13:30～17:30

会場：大阪府立大学 I-site なんば 2F

カンファレンスルームC1～C3

# 産学交流会 STEP3

## “つくろう（つくるぞ）！ 実践プログラム”

### 主旨

大学生を産業人材へと育成するキャリア教育、キャリア支援のあり方について、大阪府内（特に堺市内を重点とする）中小企業の経営者、人事担当者と大学関係者（キャリア教育を担当する教員及びキャリア支援に携わるキャリアセンターの職員）が、率直な意見交換をするとともに、産学が連携して実践できるプログラム（インターンシップの多様化、アクティブラーニング、PBL など）の構築を図る。

また、プログラムの実践をとおして、大学生のキャリア教育、キャリア支援のプラットフォーム化を目指す。

### 実施概要

対象：①大阪府内の中小企業の経営者・人事担当者

②大阪・兵庫・和歌山地域インターンシップ運営協議会及び実践的キャリア教育専門家育成事業に参画する大学のキャリア教育・キャリア支援担当教職員

③大学生（1～4回生）

目的：①企業と大学・学生が一緒に取り組んで実践プログラムを開発する。

※この実践プログラムにより、企業は課題解決への契機とし、学生・大学は中小企業を理解する。

②開発したプログラムの実施スケジュール（案）を作成する

③STEP4に向けて実践する。

概要：企業と大学が「キャリア教育プログラム」「キャリア支援プログラム」の開発をテーマにグループディスカッション、意見交換を行い、具体的なプログラムをつくる。

⇒プログラムのとりまとめは、事務局が行う。

日時：5/28(木)

13:15～17:30

(受付開始：13:00)

場所：大阪府立大学 I-site なんば  
カソアルソールームC1～C3

参加：

企業	17社	21人
大学（教職員）	7校	12人
学生	6校	12人
(計)		45人
関係機関		6人
見学者	5社	8人

### 【STEP3当日のスケジュール】

13:00～13:15	受付
13:15～13:20	『産学交流会』開会のあいさつ
13:20～13:50	産学交流会の共通認識
14:00～17:20	グループディスカッション (まとめ・発表)
17:20～17:30	閉会のあいさつ

《開会のあいさつ》大阪府商工労働部雇用推進室 乾 俊人 氏



《27年度実習員紹介》



《グループディスカッション開始》



## つくろう・つくるぞ！ 実践プログラム

### 【ねらい】

大阪府内中小企業が抱える課題の解決に向け、企業と大学、学生とが一緒に取り組んで、実践プログラムを開発する。

**企業**：業界や中小企業の課題解決に向けた取組の一つとして4つの企業から課題を提供していただき、実社会の専門性を持って議論に参加する。大学の教職員・学生と協働作業を進めることで、新しい発想やアイデアが生まれ課題解決に向けた一歩を踏み出す契機とする。（課題提供企業には、開発されたPBLプログラムの実践をサポートいただく。）

**大学**：実践プログラムの取組にあたり、企業、学生にアドバイスするとともに、より良いPBLプログラムの開発につなげる。また、学生の取組について今後のキャリア教育の参考にする。

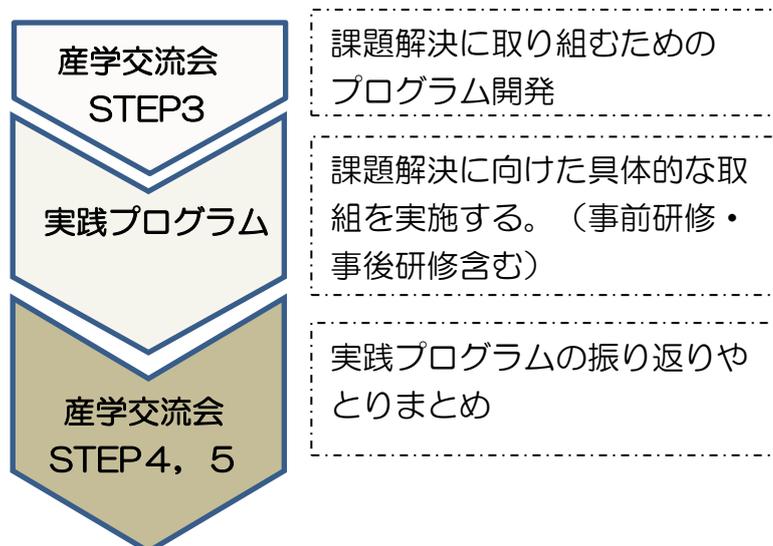
**学生**：中小企業の現実を理解、体感するとともに、就職への関心を高め将来における職業選択の幅を広げる。

**実習員**：実践プログラムの企画・運営の実施を通じて、キャリア教育専門人材としての自立を目指す。

### ★検討項目

	項目
1	課題提供の背景
2	ねらい（到達目標）
3	つけさせたい力
4	プログラム概要
5	重点ポイント
6	実施期間（日数・時間数）
7	受け入れ可能人数

### ★プログラムの流れ



### ★本日の取組みポイント

企業

企業が実施できること、学生が取り組めること（より具体的に）

大学

教育効果を出すという視点からのアドバイス

学生

課題解決するために、実施したいこと、企業に希望すること（アイデアだし）

A：介護業界における新しいサービスの開発【担当実習員/久保遼、椎木伸行】

- 介護老人保健施設クローバー悠苑（幹事企業）、シャローム、さやまの里、セルビスが協働して実施

<ディスカッション>



<発表>



<ディスカッション内容のまとめ>

**実践プログラムの概要**

項目	具体的内容
1 課題提供の背景	コア社員の獲得（専門職にとられない経営や裏方を担う人材）
2 ねらい（到達目標）	介護師としての仕事ではなく、介護業界の理解
3 つけさせたい力	・問題解決力 ・今後の方向性のきっかけ ・自己成長
4 プログラム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無知なところからテーマについて考える・・・（1日間）</li> <li>・集中講義、経営としての視点、事前研修 色々な職種の方と1日同行・・・（3～5日間）</li> <li>・講義や同行をふまえてテーマについて考える（1日間）</li> <li>・4社合同発表会（1日間）</li> </ul>
5 重点ポイント	・アイデアを出しやすい雰囲気や環境づくり ・4社合同発表会
6 実施期間 （日数・時間数）	・夏休みの約1週間
7 受け入れ可能人数	・8名程度（1社につき2～3名 4社）

B：新規内容、店舗の開発【担当実習員 / 永島孝浩、松浦麻由】

●上島珈琲貿易株式会社

<ディスカッション>



<発表>



<ディスカッション内容のまとめ>

実践プログラムの概要

	項目	具体的内容
1	課題提供の背景	飲めたらいい場所、こんな珈琲が欲しい、などの内面の声を活字に変えたい。
2	ねらい（到達目標）	商品案
3	つけさせたい力	企業：マニュアルではなく口伝のような、なぜその順序なのかをなぞって考えてほしい 学生：つけたい力は、自主性、積極性、社会人基礎力
4	プログラム概要	商品、女性、空間 （企業としては、女性対象、30歳前後、禁煙、新しいサービス考案中、社会進出、あぁいった場所で仕事したら休みたい、など） 30代女性
5	重点ポイント	ターゲットは30代女性（リサーチ）、学生目線の主体的なプログラム作成
6	実施期間 （日数・時間数）	夏休み実施なら4～5回で仮説をとる（商品化に向けた案） （うち1回は企業理解）
7	受け入れ可能人数	4～5人（規模による）

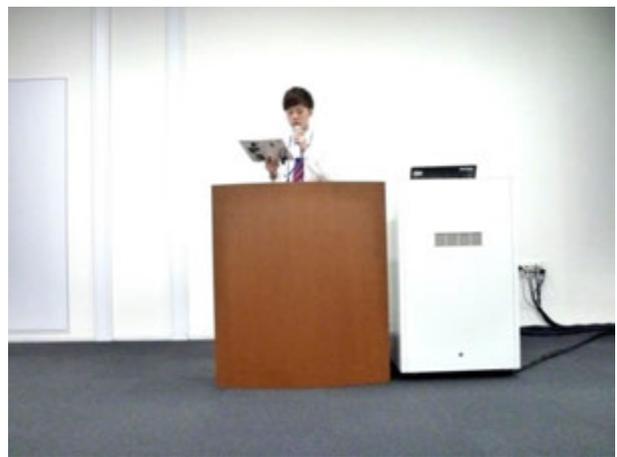
C：中小企業の魅力発信強化【担当実習員/土屋雅弘、水野由美子】

●羽衣電機株式会社

<ディスカッション>



<発表>



<ディスカッション内容のまとめ>

実践プログラムの概要

	項目	具体的内容
1	課題提供の背景	会社の社員安定雇用強化、魅力発信方法。
2	ねらい（到達目標）	企業・魅力発信力の強化手法のヒント。学生・やりがい。社会人経験。
3	つけさせたい力	企業⇒主体性
4	プログラム概要	<ul style="list-style-type: none"><li>その企業の特徴をひとつ、しっかり研究しその発信方法を探る。</li><li>独自性</li><li>人の魅力</li></ul>
5	重点ポイント	
6	実施期間 （日数・時間数）	
7	受け入れ可能人数	

D：中小企業における新卒採用力強化【担当実習員/緒方絵美、横井光】

●株式会社ビー・ティ・アイ

<ディスカッション>



<発表>



<ディスカッション内容のまとめ>

**実践プログラムの概要**

	項目	具体的内容
1	課題提供の背景	新卒採用にあたって、「製造部＝モノづくり」で思うように採用が行えない
2	ねらい（到達目標）	「製造業」の魅力が学生に知ってもらい、その上で採用にも結びつける。会社説明の参加人数アップ！
3	つけさせたい力	主体性、リーダーシップ、コミュニケーション力、好奇心を喚起する、企画力
4	プログラム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一流モノづくり」への道。 ※学生へのミッションは必須！</li> <li style="padding-left: 20px;">DVD 作成</li> <li>・「展示会の開催」を企画</li> <li>・「パンフレット作成」</li> <li>・「HP 作成」</li> </ul> 色んな製造業の企業を訪問し、製造業の魅力を向上させる。 「学生の学生のためのイメージ転換戦術」
5	重点ポイント	学生によって「製造業」のイメージ好きになる。身近に感じてもらう。
6	実施期間 (日数・時間数)	
7	受け入れ可能人数	

# ① 介護施設における新しいサービスの開発

## ② 介護・福祉 × WHAT??

項目	具体的内容
1 課題提供の背景	コア社員の専攻分野
2 わらわ(到達目標)	介護士としての仕事ではなく介護業界の理解
3 つけさせたい力	問題解決力、今後の方向性の見定め、自己成長
4 プログラム概要	
5 重点ポイント	アイデアが出るように、4社すべてに対してどう感じたか
6 実施時間 (日数・時間)	
7 受け入れ可能人数	1社2-3名

最初からゼロから考え、事後に再度大きく (2日)  
 集中講義  
 ・ビジネス視点の視点  
 ・事前石井修  
 最低5日  
 5日  
 直けたらねつはみ  
 担当者に1日同行

妻方もモロリたい  
 1-2回生

# ② 新規商品・店舗の開発

項目	具体的内容
1 課題提供の背景	
2 わらわ(到達目標)	
3 つけさせたい力	
4 プログラム概要	
5 重点ポイント	
6 実施時間 (日数・時間)	
7 受け入れ可能人数	

4ヶ月回  
 商品案 商品化の企画案  
 8-9月集中  
 店舗で販売できる  
 店舗調査 店舗のメニューを考える  
 月見学 学食を通じて商品販売  
 商品を知る 工場の知識等(専門的な) リサーチ  
 工場のフレンドを作る  
 30才前後 女性  
 加工品を試 ↑ oris?  
 空間(くろくろ...)  
 女性高 人に合った工場の(新性別)女性  
 店ホ 季節に合った商品...

# ③ 中小企業の魅力発信力の強化手法

項目	具体的内容
1 課題提供の背景	企業と学生の両方定着化 (魅力発信)
2 わらい(到達目標)	学生と企業との関係強化 (魅力発信)
3 つけさせたい力	企業と学生の両方定着化 (魅力発信)
4 プログラム概要	企業と学生の両方定着化 (魅力発信)
5 重点ポイント	
6 実施時間 (回数・時間)	
7 受け入れ可能人数	

会社の魅力発信  
 (仕事を通じた魅力発信)  
 独自性 (動画①②)  
 ④ 受け皿の問題  
 結果は出る。

ポイント  
 10モジュール  
 学生企業への  
 ・学生と企業が同じ方向性  
 斬新な  
 業に成長できる両社

差別化が出来る

# ④ 中小企業における新卒採用の確保

ミツヒト様様  
 身近に感じるのは  
 どうすれば良いか?  
 工場が身近に見える  
 1日  
 2人企業を知る

項目	具体的内容
1 課題提供の背景	
2 わらい(到達目標)	
3 つけさせたい力	
4 プログラム概要	
5 重点ポイント	
6 実施時間 (回数・時間)	
7 受け入れ可能人数	

学生が会社説明  
 ⑤ やるべきと見たい  
 学生企画  
 前年度の人材確保  
 → アピール 製造業のイメージ  
 ↓ 学生が持つ  
 ・工場  
 ・理系のイメージ  
 何を作っているか?  
 展示会、パンフレット作り  
 HP作り 学生向けのページ  
 FB (ESの作成)

7月 ←  
 企業理解 1回 時間 5~6人 → 30名 → 今より増やそう

《閉会のあいさつ》 地域インターンシップの体制整備を通じたキャリア教育の充実事業代表校  
和歌山大学 共同教育センター 講師 木村 亮介 氏

